

平成 25 年度

事 業 報 告 書

(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

公益財団法人盛岡観光コンベンション協会

法人組織の運営

1 公益法人への移行

平成 25 年 3 月 25 日付で岩手県知事から公益法人の認定を受け、同年 4 月 1 日付で公益財団法人への移行登記を行った。

2 理事会及び評議員会の決議事項等

(1) 理事会

第 1 回理事会(平成 25 年 4 月 1 日決議の省略)

議案第 1 号 専務理事の選定について

議案第 2 号 事務局長の選任について

第 2 回理事会(平成 25 年 5 月 29 日)

議案第 1 号 平成 24 年度事業報告について

議案第 2 号 平成 24 年度収支決算について

議案第 3 号 定時評議員会の招集について

第 3 回理事会(平成 25 年 8 月 23 日)

第 1 回代表理事・業務執行理事の職務の執行状況の報告について

議案第 1 号 理事の補欠選任について

議案第 2 号 監事の補欠選任について

議案第 3 号 盛岡市観光文化交流センター(プラザおでっ)指定管理者
指定申請書の提出について

議案第 4 号 もりおか啄木・賢治青春館指定管理者指定申請書の提出について

議案第 5 号 もりおか歴史文化館指定管理者指定申請書の提出について

議案第 6 号 もりおか町家物語館指定管理者指定申請書の提出について

議案第 7 号 評議員会の招集について

第 4 回理事会(平成 25 年 10 月 28 日決議の省略)

議案第 1 号 理事の補欠選任案について

議案第 2 号 評議員会の招集について

第 5 回理事会(平成 25 年 11 月 19 日決議の省略)

議案第 1 号 理事の補欠選任案について

議案第 2 号 評議員会の招集について

第 6 回理事会(平成 25 年 12 月 2 日)

議案第 1 号 理事長の選定について

第 7 回理事会(平成 26 年 3 月 13 日)

第 2 回代表理事・業務執行理事の職務の執行状況の報告について

議案第 1 号 平成 25 年度第一次収支補正予算について

議案第 2 号 平成 26 年度事業計画及び収支予算について

議案第 3 号 処務規則の一部改正について

議案第 4 号 評議員会の招集について

(2) 評議員会

第1回評議員会(平成25年4月1日決議の省略)

議案第1号 理事の選任について

第2回評議員会(平成25年6月19日)

議案第1号 平成24年度事業報告について

議案第2号 平成24年度収支決算について

第3回評議員会(平成25年8月30日)

議案第1号 理事の補欠選任について

議案第2号 監事の補欠選任について

議案第3号 盛岡市観光文化交流センター(プラザおでっ)指定管理者
指定申請書の提出について

議案第4号 もりおか啄木・賢治青春館指定管理者指定申請書の提出について

議案第5号 もりおか歴史文化館指定管理者指定申請書の提出について

議案第6号 もりおか町家物語館指定管理者指定申請書の提出について

第4回評議員会(平成25年11月7日決議の省略)

議案第1号 理事の補欠選任について

第5回評議員会(平成25年12月2日決議の省略)

議案第1号 理事の補欠選任について

第6回評議員会(平成26年3月24日)

議案第1号 平成25年度第一次収支補正予算について

議案第2号 平成26年度事業計画について

議案第3号 平成26年度収支予算について

3 役員等

(1) 評議員

公益法人移行後の評議員の就任は次のとおりである。

| 役職名 | 氏名 | 就任年月日 | 辞任年月日 | 団体名・役職名 |
|-----|---------|-----------|-------|------------------------|
| 評議員 | 大見山 俊 雄 | H25. 4. 1 | | 盛岡ホテル協議会会長 |
| 〃 | 川 村 宗 生 | 〃 | | 株式会社川徳代表取締役社長 |
| 〃 | 工 藤 浩 | 〃 | | 岩手県タクシー協会盛岡支部長 |
| 〃 | 坂 本 修 | 〃 | | 株式会社岩手銀行常務取締役 |
| 〃 | 瀬 川 君 雄 | 〃 | | 株式会社東広社取締役相談役 |
| 〃 | 平 井 滋 | 〃 | | 岩手県酒造組合会長 |
| 〃 | 蛭 間 雅 人 | 〃 | | 株式会社近畿日本ツーリスト東北盛岡支店長 |
| 〃 | 福 澤 淳 一 | 〃 | | 公益財団法人岩手県観光協会専務理事兼事務局長 |
| 〃 | 山 口 英 二 | 〃 | | 株式会社テレビ岩手常務取締役 |
| 〃 | 吉 田 莞 爾 | 〃 | | 盛岡市商店街連合会会長 |

任期：平成25年4月1日～平成29年度定時評議員会(平成29年6月)

(2) 理事及び監事

公益法人移行後の理事及び監事の異動は次のとおりである。

| 役職名 | 氏名 | 就任年月日 | 辞任年月日 | 団体名・役職名 |
|------|--------|----------|------------|-----------------------|
| 理事長 | 谷村邦久 | H25.12.2 | | 盛岡商工会議所会頭 |
| 専務理事 | 佐藤義見 | H25.4.1 | | 公益財団法人盛岡観光コンベンション協会 |
| 理事 | 伊壺時雄 | H25.8.30 | | 公益社団法人岩手県バス協会会長 |
| 〃 | 井戸伯幸 | H25.4.1 | | 東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社営業部長 |
| 〃 | 太田代洋一郎 | H25.4.1 | | 岩手県旅館ホテル生活衛生同業組合盛岡支部長 |
| 〃 | 熊澤道彦 | H25.11.7 | | 小岩井農牧株式会社代表取締役専務 |
| 〃 | 菅原実 | H25.4.1 | | 株式会社JTB東北法人営業盛岡支店長 |
| 〃 | 瀬川光夫 | H25.4.1 | | 株式会社北日本銀行常務取締役 |
| 〃 | 間瀬信康 | H25.4.1 | | 株式会社瑞光代表取締役 |
| 監事 | 浅沼晃 | H25.4.1 | | 盛岡信用金庫常務理事営業推進部長 |
| 〃 | 裊地幸孝 | H25.8.30 | | 株式会社東北銀行執行役員総務部長 |
| 理事 | 元持勝利 | H25.4.1 | H25.12.1 | 盛岡商工会議所会頭 |
| 〃 | 山下勉 | H25.4.1 | H25.8.29 | 公益社団法人岩手県バス協会会長 |
| 〃 | 工藤敏英 | H25.4.1 | H25.11.6 | 小岩井農牧株式会社参与 |
| 〃 | 谷藤和彦 | H25.4.1 | H26.3.12死去 | 株式会社岩手日報社取締役事業局長 |
| 監事 | 皆川和夫 | H25.4.1 | H25.8.29 | 株式会社東北銀行総務部長 |

理事の任期：平成25年4月1日～平成27年度定時評議員会(平成27年6月)

監事の任期：平成25年4月1日～平成29年度定時評議員会(平成29年6月)

4 監査

平成25年5月21日に平成24年度事業報告及び収支決算について、監事による監査が行われ、その結果、適正である旨認められた。

事業概要

観光振興事業

1 広報宣伝事業

(1) 広報宣伝事業

新聞特集広告にて企画事業及び祭りイベント広報を行った。

- ・「いわて旅手帳/春の観光特集」(4月20日付 岩手日報別冊)
- ・「チャグチャグ馬コ」(6月6日付 岩手日報)
- ・「初夏のお得情報」(6月29日付 岩手日報)
- ・「夏の観光イベント」(7月20日付 岩手日報・東奥日報・秋田魁新報)
- ・「盛岡さんさ踊り」(7月31日付 盛岡タイムス)

(2) インターネット活用事業

協会ホームページへの新着情報や各観光事業のバナー掲載, 被災地支援関連情報, コンベンション情報, プラザおでって・もりおか啄木・賢治青春館・もりおか歴史文化館の各事業, 賛助会員情報等について随時更新した。

(件)

| 項目 | 平成 25 年度 | | | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 |
|-------------------------|----------|---------|-------|----------|----------|
| | 実績 | 前年度比較増減 | | 実績 | 実績 |
| インターネット総アクセス数 (訪問回数) | 118,901 | △3,720 | △3.0% | 122,621 | 75,621 |

2 観光案内事業

(1) 観光案内施設整備事業

- ・岩山スカイハイツを活用して観光案内写真や市内鳥瞰図等を展示し, 岩山自然公園地区を訪れる観光客に市内周遊の観光宣伝に努めた。

(2) 観光ボランティア「盛岡ふるさとガイド」事業

- ・盛岡ふるさとガイド(観光ボランティアガイド)を活用し, 修学旅行生及び観光客等に盛岡の街の魅力を紹介した。
- ・一般市民向けに希望者を募り, ガイド養成講座を開講(2月~3月/全6回)した。学芸員他有識者による座学とふるさとガイドによる実地研修により, 新たに6人のガイドを養成, 委嘱登録した。平成25年度ガイド登録者数: 42人

| 項目 | 平成 25 年度 | | | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 |
|-------------|----------|---------|--------|----------|----------|
| | 実績 | 前年度比較増減 | | 実績 | 実績 |
| ガイド出動件数 (件) | 121 | △19 | △13.6% | 140 | 161 |
| 案内者数 (人) | 2,029 | △37 | △1.8% | 2,066 | 1,602 |

3 観光客誘致促進事業

(1) 観光客誘致キャンペーン事業

- ・「東北六魂祭 2013 福島（観光客数 25 万人）」に観光ブースを出展し、盛岡の観光 P R 及びアクセス案内等を行った。

【6 月 1 日～2 日 午前 10 時～午後 5 時 福島県福島市特設会場】

- ・「盛岡デー・イン・東京」の観光コーナーにおいて、盛岡の観光 P R 及びアクセス案内等を行ったほか、ステージイベントの運営に協力した。

【7 月 12 日～15 日 午前 9 時～午後 7 時 イオン板橋店】

(2) 教育旅行誘致事業

- ・修学旅行の誘致のため、宮城県内の旅行エージェント等を訪問し、要望等の聞き取り及び来年度へ向けての動向調査等を行った。

【7 月 23 日～24 日 仙台市・岩沼市 訪問エージェント 8 社ほか】

- ・北海道からの修学旅行誘致を継続して推進していくため、岩手県観光協会教育旅行誘致宣伝部会の構成員として「北海道中学校キャラバン」に参加、札幌市内の中学校教育旅行担当教諭等と面談を行い、岩手盛岡の魅力と安全性を伝えるとともに、今後の動向調査を行った。

【7 月 30 日 札幌市 93 校を 12 班編成にて訪問】

- ・5 月から 6 月の修学旅行シーズンにあわせ、ラジオ番組に「ようこそ盛岡へ！本日の修学旅行生」企画コーナーを設け、当日来盛する学校名の紹介とエピソード等を伝え、“修学旅行生の訪れるまち盛岡”を一般市民に喚起し、受け入れムードの向上を図った。

【5 月 7 日～6 月 28 日 平日朝 9 時 30 分～9 時 35 分／ラヂオもりおか】

- ・修学旅行生を対象に「さんさ踊り体験学習」を実施し、郷土芸能の魅力を伝えるとともに盛岡への再訪を呼びかけた。

【8 校 610 名】

(3) 外国人観光客誘致受入事業

- ・外国人誘客促進のため、岩手県及び「盛岡さんさ踊り振興協議会」と連携し、台湾南投県中興新村（ちゅうこうしんそん）及び埔里鎮（ほりちん）で東北復興と台日交流を目的に開催された「台日鼓舞節」（東北各地の郷土芸能・物産等）へ盛岡さんさ踊り団体 30 名を派遣、盛岡の郷土芸能と観光の P R に努めた。

【4 月 5 日～7 日 台湾・中興新村／埔里鎮】

- ・観光文化情報プラザ（おでって 2 階）及び北東北観光センター（盛岡駅構内南口）において、外国人観光客の W i - F i（無料公衆無線 LAN 環境）ニーズに応えるため、光ステーション接続システムを活用した観光コンテンツ等の提供と「ID パスカード」の配布により、外国人観光客の利便に供した。

* 「ID/PASS カード」＝カード記載のパスワード等を個人端末に入力することにより、一定期間無料での W i - F i 接続が可能になる外国人向けのサービス

【7 月 30 日 サービス運用開始】

- ・台中国際旅行展覧会（TTF）において観光情報の提供を行うとともに現地旅行会社との旅行商談等を行った。展覧会来場者数は 4 日間で 132,873 人を記録した。

【台中国際旅行展覧会 10 月 4 日～7 日／現地商談会 10 月 8 日】

(4) 冬季観光振興事業

- ・もりおか雪あかり実行委員会、いわてウインターリゾート協議会等と連携し冬季イベントを活用した誘客事業を展開した。

【もりおか雪あかり 2月7日～9日】

(5) その他観光客誘致促進事業

- ・盛岡・矢巾・紫波広域観光推進協議会、盛岡・八幡平広域観光推進協議会、はたるを守る市民の会及びゆかたのまち盛岡推進事業実行委員会等と連携し誘客活動を展開した。

4 まつり行事振興事業

各種まつり、イベントに支援助成を行うとともに行事の宣伝普及に努めた。

また、盛岡秋まつりにおいては、協会の山車について市民の参加者とともに運行することにより伝統文化の継承と街の賑わいに貢献した。

山車運行参加者

| 項 目 | 平成 25 年度 | | | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 |
|---------|----------|---------|------|----------|----------|
| | 実績 | 前年度比較増減 | | 実績 | 実績 |
| 参加者 (人) | 580 | 49 | 0.9% | 531 | 672 |

主なまつり行事の開催状況

| No. | 行 事 名 | 時 期 | 場 所 | 内 容 |
|-----|------------------------------|------------------------|------------------------------------|---|
| 1 | 第 25 回 大盛岡神輿祭り | 6 月 2 日 | 大通り周辺 | 第 25 回大盛岡神輿祭りを後援した。 【参加】 大人神輿 9 基 子供神輿 2 基 |
| 2 | 第 35 回 盛岡さつき祭り | 6 月 7 日 ～6 月 9 日 | 盛岡市中央 公民館 | 「花と緑の街づくり」運動をすすめる「さつき祭り」(理事長名を冠した賞)に協賛した。 |
| 3 | チャグチャグ馬コ 前祝い祭 行進大会 | 6 月 2 日 6 月 8 日 | 盛岡駅滝の 広場 鬼越蒼前神社～市内・盛岡八幡宮 | 市内民踊団体と馬コが参加して、行進大会の宣伝をした。 【参加】 装束 76 頭 役員 11 頭 【併設パレード参加団体】 自衛隊、県警音楽隊、PL バトントワラーズ、民俗芸能 (チャグチャグ馬コ手踊り、さんさ踊り) |
| 4 | 第 37 回 北上川ゴムボート 川下り大会 | 7 月 28 日 | 北上川 (四十四田ダム～南大橋) | 夏の誘客促進を図るため盛岡市を中心に実行委員会を組織して実施した。 【参加ボート】 641 艇 |

| | | | | |
|----|-------------------|-----------------|---|--|
| 5 | 盛岡さんさ踊り | 8月1日 ～8月4日 | 中央通、市民文化ホール、盛岡城跡公園 | 【参加出演者】35,520人 (内訳) 団体数 253 団体 太鼓 14,530人 笛 2,150人 踊手等 18,840人 |
| 6 | 盛岡七夕まつり | 8月4日 ～8月7日 | ホットライン肴町 | 伝統ある七夕まつりに協賛した。 |
| 7 | 盛岡舟っこ流し | 8月16日 | 明治橋上流 | 灯籠流しとともに先祖の霊を送り、無病息災を祈る伝統行事を支援し、投げ松明事業に協賛した。 【流舟数】大人舟 14 隻 【打上げ花火数】約 3,000 発 |
| 8 | 盛岡秋まつり | 9月14日 ～9月16日 | 市内一円 | 協会の山車は演題を「菅原伝授手習鑑、車引き」、見返しを「三番叟」とし、14日 187名、15日 207名、16日 186名、3日間合計で 580名の参加を得て、華やかかつ豪壮に山車を運行した。 |
| 9 | もりおか雪あかり | 2月7日 ～2月9日 | 盛岡城跡公園、菜園、盛岡駅前広場、青山町、MOSSビル、東大通商店街、中の橋周辺、岩手県公会堂 | 盛岡城跡公園をメイン会場にキャンドルの炎による雪あかりが菜園～盛岡駅を彩った。 【ボランティア】述べ 1000人以上 【雪あかり設置】約 45,000 個 |
| 10 | 第 47 回 いわて雪まつり | 1月31日 ～2月11日 | 小岩井まきば園 | みちのく五大雪まつりの一つとして小岩井農場に趣向を凝らした雪像を設置するいわて雪まつりに協賛した。 |

5 ブランド振興事業

(1) フィルムコミッション事業

盛岡市及び盛岡広域市町村の景観・人物・特産品等の素材を活かして、映画・テレビの映像化を推進するため盛岡広域フィルムコミッションの事務局としてロケ誘致及びロケ支援活動を実施した。

| 項目 | 平成 25 年度 | | | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 |
|---------------|----------|---------|-------|----------|----------|
| | 実績 | 前年度比較増減 | | 実績 | 実績 |
| ロケ支援件数 (件) | 70 | 25 | 55.6% | 45 | 38 |

(2) その他ブランド振興事業

公益財団法人岩手県観光協会が実施する観光土産品推奨・審査制度を広く周知し、制度の活用を促すことにより優良な土産品生産の振興を図った。

6 観光資源活用事業

東京事務所連携事業

盛岡市東京事務所及び東京ふるさと会等と連携し、首都圏での盛岡広域の観光情報及び物産をPRし観光コンベンションの振興を図った。

7 玉山区観光振興事業

「啄木学級文の京講座^{ふみ みやこ}」, 「啄木学級故郷講座」及び「第 47 回姫神山やま開き」の催事を行い、石川啄木の作品に親しみ造詣を深めるとともに、首都圏、盛岡広域の住民に対し玉山区の観光資源の宣伝に努めた。

| No. | 行事名 | 開催日・会場 | 参加者数 | 摘要 |
|-----|---------------|------------------------------|-----------|--|
| 1 | 第 47 回姫神山やま開き | 5 月 19 日 | 約 1,000 人 | 共催：盛岡市 |
| 2 | 啄木学級文の京講座 | 7 月 14 日 東京都文京区：文京シビックホール | 329 人 | 主催：盛岡市, 文京区, (公財)盛岡観光コンベンション協会 共催：盛岡デー実行委員会, (財)石川啄木記念館 ○講演：「啄木を語る」 講師：コロンビア大学名誉教授 ドナルド・キーン氏 ○対談：「啄木のローマ字日記をめぐって」 国際啄木学会理事 西連寺 成子氏 石川啄木記念館学芸員 山本玲子氏 |
| 3 | 啄木学級故郷講座 | 8 月 31 日 渋民尋常小学校校舎 | 51 人 | 後援：盛岡市, 岩手日報社 ○講演：「啄木とうたの風景」 講師：岩手日報記者 小山田泰裕氏 ○対談：「啄木歌碑をめぐって」 岩手日報記者 小山田泰裕氏 石川啄木記念館学芸員 山本玲子氏 |

8 観光客受入体制整備事業

北東北観光センター運営事業

盛岡駅構内南口において、国際観光振興機構の認定を受けたビジット・ジャパン案内所の「北東北観光センター」を運営し、国内外からの観光客に盛岡及び周辺地域、北東北の観光情報の提供並びに観光客の相談等、総合的な観光案内を行った。なお、盛岡駅構内北口観光案内所についても「盛岡駅観光案内等サポーター事業」として当協会が運営しており、南口の「北東北観光センター」と連携して観光案内を行った。

盛岡駅構内における観光案内状況

| 項目 | 平成 25 年度 | | | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 |
|-------------------|----------|---------|--------|----------|----------|
| | 実績 | 前年度比較増減 | | 実績 | 実績 |
| 来訪者数 (人) | 75,039 | 6,452 | 9.4% | 68,587 | 29,986 |
| うち北東北観光センター対応 (人) | 34,238 | △3,975 | △10.4% | 38,213 | 29,986 |
| うち北口観光案内所対応(人) | 40,801 | 10,427 | 34.3% | 30,374 | — |
| 問合せ件数 (件) | 25,037 | △202 | △0.8% | 25,239 | 30,820 |
| 宿泊送客数 (件) | 944 | △100 | △9.6% | 1,044 | 1,094 |

※北口観光案内所は平成 24 年度から当協会が運営している。

9 おもてなし観光推進事業

(1) 被災地復興支援誘客コーディネート事業

- ・沖縄県 3 社及び福岡県 2 社のエージェントと旅行商談を行い、岩手の情報を提供した。

【6 月 11 日 九州/沖縄エージェント旅行商談会 エスポワールいわて】

- ・防災教育を目的とした教育旅行向けに「防災学習ガイド情報ファイル」を作成し、情報提供に努めた。
- ・沿岸地域及び盛岡の現状を映像で伝えるため、ライブカメラの設置を行い、ホームページによる映像配信を行った。

【設置場所＝久慈・田野畑・宮古・山田・盛岡】

- ・ホームページを活用し、復興支援に係る各種情報の提供を行った。

【復興応援日帰りバスツアー、NHK あまちゃん情報等】

- ・プラザおでって等に「旅で三陸を応援しよう！」コーナーを設置し、沿岸地域の観光パンフレット等を配架するとともに、イベント開催等新着情報の提供に努めた。
- ・「旅で三陸を応援しよう！」のバナーを作成し、ホームページ及び封筒印刷等に活用した。

【バナー入り封筒 7,000 部作成】

(2) 盛岡駅観光案内等サポーター事業

盛岡駅構内北口に観光案内所を設け、観光案内人(観光サポーター)を配置し盛岡駅構内南口の北東北観光センターと連携して盛岡を訪れる観光客等に対し観光情報や復興情報を提供する等サービスの充実を図った。

コンベンション振興事業

1 コンベンション誘致支援事業

(1) I M E 展(国際ミーティング・エキスポ展)事業

観光庁・日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー(JCCB)・日本政府観光局(JNTO)主催の第23回国際ミーティング・エキスポ(IME2013)展へ盛岡ブースを出展し、支援内容、コンベンション施設、観光・物産等をPRし誘致活動を行ったほか、当協会作成の「アフターコンベンション〜三陸編〜」パンフレットを提供し、三陸沿岸地区の復興・観光の状況についてもPRした。

また、全国のコンベンション推進団体のブースを訪問し、コンベンション開催状況、支援内容等の情報収集を行った。

第23回国際ミーティング・エキスポ(IME2013)展

期日：平成25年12月10日～11日 場所：東京国際フォーラム

来場者：3,321人

(2) コンベンション誘致対策事業

- ・岩手大学、岩手医科大学など地元大学を訪問して学会などの情報を収集するとともに支援概要をPRし誘致活動を実施した。

また、首都圏の各学会・大会事務局や旅行エージェント等を個別訪問し、パンフレット等により支援内容を説明するとともに、三陸へのアフターコンベンションプランを提案するなど誘致活動を行った。

平成25年度首都圏の訪問団体数：30団体

- ・東北地区コンベンション推進協議会主催の合同セミナーに参加し、地酒、特産品等を紹介しながら、来場者に対し岩手県へのコンベンション開催を呼びかけるとともに情報交換を行った。

東北地区コンベンション推進協議会(東北及び新潟の16団体で構成)

合同セミナー期日：平成26年2月6日

場所：都市センターホテル(東京都)、参加70団体108人

- ・盛岡におけるコンベンション主催者の開催意欲向上のため、コンベンションフェアを開催し、コンベンション主催者及び関連業者に支援サービスの情報提供を行った。

岩手・もりおかコンベンションフェア

期日：平成26年2月20日

場所：ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング

参加23社33人

(3) コンベンション支援事業

- ・歓迎ステッカーの作製配付

歓迎ステッカーを作製し市内商店街、公共施設等に配付、掲出していただき大会参加者への歓迎の意を表して気運を盛り上げるとともに、市民への開催告知を図った。

- ・歓迎看板の作製設置

盛岡駅前バスプール広告塔の歓迎用看板について、作製費の一部助成を行い

設置し、コンベンション参加者への歓迎の意を表するとともに、市民への周知を図った。

- ・コンベンションバッグの提供

コンベンションバッグを主催者へ会議資料入れ用として廉価で提供し、大会参加者の利用に供した。

- ・盛岡広域観光ガイド「盛岡いいとこドリ」の提供

大会参加者の更なる観光促進を図るため、当協会で作製した盛岡広域観光ガイドをコンベンション主催者へ提供し、大会参加者の利用に供した。

(4) コンベンションサポーターの派遣育成事業

各種学会及び大会等の受付や事務局補助、観光案内等の業務にサポーター(市民ボランティア)を派遣し、主催者の負担軽減を図るとともに大会がスムーズに運営されるようサポートを行った。

また、「MTCA サポーターの会」の活動に対して助成金を交付するとともに、サポーターの資質向上のための研修会等のサポートを行った。

平成 25 年度サポーター登録者数：70 人

コンベンション支援状況

| 項 目 | 平成 25 年度 | | | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 |
|-------------------|----------|---------|-------|----------|----------|
| | 実績 | 前年度比較増減 | | 実績 | 実績 |
| 支援件数 (件) | 101 | △9 | △8.2% | 110 | 74 |
| 支援コンベンションの参加者数(人) | 75,260 | △4,145 | △5.2% | 79,405 | 73,810 |
| 支援内容 | | | | | |
| コンベンションバック提供(袋) | 16,345 | 3,055 | 23.0% | 13,290 | 11,641 |
| 盛岡広域観光ガイド提供(部) | 16,200 | 4,950 | 44.0% | 11,250 | 13,420 |
| サポーター派遣(件) | 29 | △1 | △3.3% | 30 | 24 |
| 〃(延人) | 264 | △12 | △4.3% | 276 | 201 |
| 歓迎ステッカー作製配付(件) | 11 | 3 | 37.5% | 8 | 9 |
| 盛岡駅前広告塔看板製作設置(件) | 8 | 3 | 60.0% | 5 | 7 |

2 企画開発情報収集事業

各種情報収集連絡会参加事業

- ・岩手大学, 岩手医科大学等の地元大学及びコンベンション施設等の関係団体・機関 700 件を対象に、開催が計画される会議, 大会等についてのアンケート調査を実施し、誘致・支援に活用するとともに、収集した情報を一覧表化してホームページ等により公開した。

また、東北地区コンベンション推進協議会総会(弘前市)及び研修会(長岡市)に参加し、情報収集を行った。

- ・第 23 回国際ミーティング・エキスポ (IME 2013) 開催中の平成 25 年 12 月 10 日に盛岡市, 金沢市, 静岡市, 高松市, 宮崎市のコンベンション推進団体による情報交換会(5CB 会議)を実施し、各都市の開催実績をもとに、今後お互いの都市で開催の可能性のあるコンベンションについて情報交換を行った。

指定管理施設運営事業

1 盛岡市観光文化交流センター運営事業

盛岡市観光文化交流センター及びおでって共用施設部分について、指定管理者として管理運営を行うとともに自主企画事業を展開した。

(1) おでって全体の利用状況 (人)

| 項目 | 平成 25 年度 | | | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 |
|---------------|----------|---------|--------|----------|----------|
| | 実績 | 前年度比較増減 | | 実績 | 実績 |
| 盛岡市観光文化交流センター | 115,442 | △7,146 | △5.8% | 122,588 | 115,179 |
| 商業店舗(産直夢街道) | 43,970 | △20,612 | △31.9% | 64,582 | 96,458 |
| もりおか市民活動支援室 | 1,744 | △252 | △12.6% | 1,996 | 1,923 |
| もりおか女性センター | 22,149 | 5,009 | 29.2% | 17,140 | 18,603 |
| 盛岡てがみ館 | 3,899 | △211 | △5.1% | 4,110 | 3,539 |
| 計 | 187,204 | △23,212 | △11.0% | 210,416 | 235,702 |

※盛岡市観光文化交流センターの利用者数は2階観光文化情報プラザの訪問者数を含む。

(2) 観光文化情報プラザの運営

盛岡市観光文化交流センター内の観光文化情報プラザにおいて、国内外の観光客及び修学旅行生等に盛岡市及び盛岡広域の観光情報の提供、街歩き観光の魅力を紹介したほか観光相談に対応するなど総合的な観光案内を行った。

| 項目 | 平成 25 年度 | | | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 |
|-----------|----------|---------|-------|----------|----------|
| | 実績 | 前年度比較増減 | | 実績 | 実績 |
| 来訪者数 (人) | 28,635 | △2,456 | △7.9% | 31,091 | 24,427 |
| 問合せ件数 (件) | 17,628 | 2,059 | 13.2% | 15,569 | 8,275 |

(3) 盛岡市観光文化交流センターの利用状況 (人)

| 項目 | 平成 25 年度 | | | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 |
|-----------|----------|---------|--------|----------|----------|
| | 実績 | 前年度比較増減 | | 実績 | 実績 |
| おでってホール | 23,055 | 2,580 | 12.6% | 20,475 | 21,048 |
| ギャラリーおでって | 18,359 | △3,851 | △17.3% | 22,210 | 20,536 |
| 大会議室 | 13,436 | △66 | △0.5% | 13,502 | 13,385 |
| 特別会議室 | 4,875 | △145 | △2.9% | 5,020 | 5,286 |
| 第1会議室 | 3,755 | △162 | △4.1% | 3,917 | 4,273 |
| 第2会議室 | 3,290 | 44 | 1.3% | 3,246 | 3,777 |
| リハーサル室 | 8,695 | △1,408 | △13.9% | 10,103 | 8,675 |
| おでって広場 | 11,342 | △1,682 | △12.9% | 13,024 | 13,772 |
| 計 | 86,807 | △4,690 | △5.1% | 91,497 | 90,752 |

(4) 自主企画事業実施状況

| No. | 行事名 | 開催日 | 入場者数(人) | 内容 |
|-----|-----------------------------|-------------------|---------------|---|
| 1 | 第 39 回おでって芸能館 | 6 月 22 日 | 74 人 | 県内各地の伝統芸能を紹介するシリーズ。 大沢さんさ踊り保存会，県立葛巻高校郷土芸能部，滝ノ下さんさ踊り保存会の出演。 |
| 2 | おでって体験芸能館 「さんさ踊り体験講座」 | 7 月 13 日 | 21 人 (参加者) | さんさ踊りを気軽に体験できる初心者向けの体験講座。 |
| 3 | あまちゃん応援フェア | 9 月 6 日 ～7 日 | 1,500 人 | NHK 連続テレビ小説「あまちゃん」ファン感謝デーが岩手県民会館で開催されるのに合わせ，おでって広場を会場にまめぶ汁やさんまの塩焼きなど三陸の食材等を提供するおもてなし企画。 |
| 4 | 野平一郎ピアノリサイタル（共催企画） | 10 月 9 日 | 190 人 | 東日本大震災からの復興を願い，演奏家としての静岡音楽館芸術監督である野平一郎氏のリサイタルを静岡市文化振興財団とともに開催。 |
| 5 | 第 14 回中津川ベリフォークジャンボリー（共催企画） | 10 月 19 日～20 日 | 479 人 | アマチュアミュージシャンによるフォークソングのライブイベント。 |
| 6 | 第 40 回おでって芸能館 | 11 月 24 日 | 62 人 | 県内各地の伝統芸能を紹介するシリーズ。 甲地自治会甲地鹿踊り保存会（田野畑村），瀧澤鶏舞保存会（洋野町），久慈備前太鼓（久慈市）の出演。 |
| 7 | おでってリージョナル劇場 | 2 月 21 日 ～23 日 | 446 人 | 盛岡にゆかりのある人物，歴史，風土などを題材にする演劇公演シリーズ。今回は盛岡在住の作家上田次郎氏が花巻の宮沢家に疎開していた高村光太郎をテーマに書き下ろした。 |

2 もりおか啄木・賢治青春館運営事業

国の重要文化財に指定されている同館の管理運営を行うとともに、2階展示ホールにおいて自主企画事業等を実施した。また、1階において石川啄木、宮澤賢治に関する書籍や絵葉書、観光グッズ等を販売したほか喫茶コーナーの運営を行った。

(1) 利用状況

| 項目 | 平成 25 年度 | | | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 |
|------------|----------|---------|-------|----------|----------|
| | 実績 | 前年度比較増減 | | 実績 | 実績 |
| 入館者数 (人) | 44,732 | △1,322 | △2.9% | 46,054 | 34,720 |
| うち修学旅行 (校) | 173 | △4 | △2.3% | 177 | 167 |
| 〃 (人) | 3,253 | △176 | △5.1% | 3,429 | 3,254 |
| 館内案内 (団体) | 71 | 15 | 26.8% | 56 | 45 |
| 〃 (人) | 1,410 | 299 | 27% | 1,111 | 813 |

(2) 自主企画事業実施状況

| No. | 行事名 | 開催日 | 入場者数(人) | |
|-----|---------------------------------------|------------------|---------|---|
| 1 | 第 58 回企画展 「てくり」展 | 4月11日 ～6月9日 | 6,166 人 | 盛岡の地域誌であるが高い編集内容で全国的に評価の高い「てくり」を、関係するカメラマンやデザイナーまで広く紹介。 |
| 2 | 第 59 回企画展 「大場富夫版画展」 | 6月21日 ～9月1日 | 5,607 人 | 全国観光ポスター展特賞など、都会的なセンスと独自の画風で人気を博す大場氏の回顧展。 |
| 3 | 第 60 回企画展 「柴田外男展」 | 9月13日 ～11月10日 | 4,260 人 | 長いキャリアを誇る岩手のグラフィックデザイナーの草分け、柴田氏の回顧展。 |
| 4 | 第 61 回企画展 「イーハトーブの絵本の森」 | 11月22日 ～1月13日 | 2,017 人 | 東京恵比寿のギャラリーが開催し好評を博した、賢治童話をテーマにした本の装丁・装画展を巡回・拡大して展示。 |
| 5 | 第 62 回企画展 発掘・盛岡ゆかりの画家シリーズ 13「金子正展」 | 1月24日 ～4月6日 | 2,217 人 | 哀愁あふれる画風で、多くのファンを魅了し続ける金子氏の回顧展。画帳やゆかりの品までを展示。 |
| 6 | 「モリーオ童話館」 | 毎月土曜 1回開催 | 164 人 | 宮沢賢治の童話を盛岡在住の女優畑中美耶子氏が盛岡弁で朗読するシリーズ。 |

(3) コンサート実施状況

| No. | 行 事 名 | 開催日 | 入場者数(人) | 内 容 |
|-----|-------------------------------------|-------|---------|---|
| 1 | 畠山美由紀ライブ「賢治を歌う」(モリプロ実行委員会と共催) | 5月12日 | 140人 | プラザおでつと青春館の2会場に跨る小規模出版社の集いイベントであるモリプロのプログラムに盛り込まれた人気フォークシンガーのコンサート。 |
| 2 | 白鳥英美子コンサート(近畿日本ツーリスト共催) | 7月27日 | 113人 | 近畿日本ツーリストが手がける復興支援プログラム。東日本大震災被災地の歴史的建造物で一流のアーティストが癒しを提供する目的で開催。 |
| 3 | ケルン放送管弦楽団木管トリオ「トリオ・ダンシュ・デ・コロン」コンサート | 8月10日 | 60人 | ドイツのケルン放送管弦楽団で木管パートを担当する日独トリオによる演奏会。 |
| 4 | クノップ長岡+長岡直子+三浦祥子コンサート | 8月30日 | 120人 | 盛岡市出身オーストリア在住のピアニスト長岡直子氏と五女のバイオリニスト、盛岡在住のチェリスト三浦祥子氏との女性トリオ演奏。 |

3 もりおか歴史文化館運営事業

もりおか歴史文化館は、当協会と株式会社乃村工藝社が共同(もりおか歴史文化館活性化グループ)で運営を行っており、当協会では観光アテンダントを派遣し、「まちなか情報センター」及び「ミュージアムショップ」の案内機能を広く観光案内分野に活用した。また、南部藩をコンセプトとした盛岡市の歴史に触れる街歩き観光の拠点として、盛岡ふるさとガイドの効果的な運用を行いながら観光の振興に努めた。

| 項 目 | 平成 25 年度 | | | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 |
|------------|----------|---------|--------|----------|----------|
| | 実績 | 前年度比較増減 | | 実績 | 実績 |
| 入館者数 (人) | 206,136 | △40,273 | △16.3% | 246,409 | 162,861 |
| うち修学旅行 (校) | 198 | 33 | 20% | 165 | 28 |
| 〃 (人) | 7,236 | △58 | △0.8% | 7,294 | 1,223 |

※開館日：平成 23 年 7 月 1 日

平成 25 年 8 月 9 日に入館者 50 万人を達成した。

その他事業

1 観光グッズ販売事業

盛岡市観光交流センター内の観光文化情報プラザにおいて、四季折々の盛岡の風景と祭りをデザインした絵葉書、オリジナル観光グッズ等を開発、販売し、盛岡の魅力を広く紹介した。

2 第三種旅行業・観光企画事業，ホテル旅館宿泊斡旋事業

観光客の利便性を図るため観光文化情報プラザにおいて、ホテル、旅館の紹介・予約業務を行った。また、盛岡・八幡平広域観光圏共通温泉入浴券(南部の湯っこ券)の企画販売を行った。

| 項 目 | 平成 25 年度 | | | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 |
|----------------|----------|---------|-------|----------|----------|
| | 実績 | 前年度比較増減 | | 実績 | 実績 |
| ホテル・旅館予約件数 (件) | 53 | △4 | △7.1% | 57 | 32 |

※ホテル・旅館の紹介予約は、第三種旅行業登録に基づく業務。

| 項 目 | 平成 25 年度 | | | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 |
|--------------------|----------|---------|-------|----------|----------|
| | 実績 | 前年度比較増減 | | 実績 | 実績 |
| 南部の湯っこ券販売枚数 (枚) | 9,856 | 2,304 | 30.5% | 7,552 | 10,240 |
| 参加温泉施設 (施設) | 46 | 5 | 12.2% | 41 | 40 |

※湯っこ券は1セット4枚綴り。(1,800円)

3 プレイガイド事業

コンサート、観劇チケットの販売及びチケット印刷業務を行い市民の文化活動を支援した。

| 項 目 | 平成 25 年度 | | | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 |
|------------------------|----------|---------|--------|----------|----------|
| | 実績 | 前年度比較増減 | | 実績 | 実績 |
| コンピューターチケットシステム取扱件数(件) | 21 | △14 | △40% | 35 | 14 |
| 〃 (枚) | 103 | △121 | △54% | 224 | 115 |
| その他委託チケット販売件数(件) | 371 | 169 | 83.7% | 202 | 163 |
| 〃 (枚) | 1,967 | △1,387 | △41.4% | 3,354 | 5,561 |

4 接遇研修事業

接遇研修について、賛助会員及び自治体、観光施設等観光関連機関・団体の職員、従業員を対象に接遇向上を目的として実施した。参加者：174人

開催日時：平成26年2月13日(木) 13:00～16:15

開催場所：プラザおでって3階 おでってホールほか

第1部 おもてなしマナー研修会

「おもてなしとは何か，おもてなしの心を表現するポイント」

「復興観光支援のためにできること」

講師：株式会社パネット 沼田智香子氏

第2部 おもてなしの心講演会

「三陸鉄道 復興のレール～全線運転再開にむけて～」

講師：三陸鉄道株式会社 代表取締役社長 望月正彦氏

5 観光カレンダー作成・配付事業

盛岡のカレンダーを2,000部作成し，賛助会員，関係団体，旅行業者及び首都圏の観光施設等に配付して盛岡の観光宣伝に努めた。

6 推せんの店標識貸与事業

賛助会員については，当協会の事業活動に賛同いただける個人・法人から会費を通じて活動の支援をいただいております，事業所訪問やホームページ等による新規会員の募集・勧誘を行ったほか，賛助会員の飲食，土産物産，宿泊施設等の店舗の中から「推せんの店」として認定，標識を貸与し，訪問客が安心して利用できる店舗の普及，宣伝に努めた。

| 項目 | 平成25年度 | | | 平成24年度 | 平成23年度 |
|-------------|------------|----------|-------|------------|------------|
| | 実績 | 前年度比較増減 | | 実績 | 実績 |
| 賛助会員数 (人) | 372 | △18 | △4.6% | 390 | 398 |
| 賛助会費 (円) | 16,993,000 | △206,000 | △1.2% | 17,199,000 | 17,251,000 |
| 標識貸与店舗数 (店) | 143 | △6 | △4.0% | 149 | 157 |

7 芝水園事業

高松芝水園(釣堀)について，釣りを楽しむことによる憩いの場として管理運営を行った。(人)

| 項目 | 平成25年度 | | | 平成24年度 | 平成23年度 |
|---------|--------|---------|------|--------|--------|
| | 実績 | 前年度比較増減 | | 実績 | 実績 |
| 利用者数 | 3,239 | 61 | 1.9% | 3,178 | 2,789 |
| うち大人 | 1,965 | 46 | 2.4% | 1,919 | 1,735 |
| うち小学校児童 | 1,274 | 15 | 1.2% | 1,259 | 1,054 |

8 レンタサイクル事業

市街地観光を推進するため観光客や修学旅行生向けにレンタサイクル事業を展開した。

| 項目 | 平成25年度 | | | 平成24年度 | 平成23年度 |
|----------|--------|---------|--------|--------|--------|
| | 実績 | 前年度比較増減 | | 実績 | 実績 |
| 利用件数 (件) | 206 | △42 | △16.9% | 248 | 212 |
| 利用台数 (台) | 369 | △62 | △14.4% | 431 | 349 |

9 啄木新婚の家管理運営事業

盛岡市から啄木新婚の家の管理委託を受け同施設の管理運営を行った。

| 項 目 | 平成 25 年度 | | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 |
|------------|----------|------------------|----------|----------|
| | 実績 | 前年度比較増減 | 実績 | 実績 |
| 入館者 (人) | 18,333 | △2,476 △11.9% | 20,809 | 12,013 |
| うち修学旅行 (校) | 147 | △2 △1.3% | 149 | 88 |
| 〃 (人) | 2,638 | 554 26.6% | 2,084 | 1,750 |

事業報告の附属明細書

平成 25 年度事業報告の附属明細書について、社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する事業報告の内容を補足する重要な事項はない。